

愛と思いやりから生まれた食器 アトリエ ウラレ

食を彩る器、心を豊かにする器。だから・・・だからこだわりたい。

創る喜びと使う楽しみを实践するアトリエウラレ主宰&講師の上村朋子さんが創るユニバーサルデザインの食器のご紹介。それはこんな声から生まれました。

ある方のお母様がお病気になるれ片手しか使えない状況に…介護用の食器は味気ないプラスチック製のものが多く「温か味のある食器が大好きなお母様には、あまりにもかわいそうで…」との事。「少し重めで、片手でも食べやすく、家族とお揃いで使えるお洒落な食器は創れないですか？」とのご依頼。体がちょっと不自由になると、その人だけが違う食器を使い、のけ者になってしまいがち。家族との温かい食卓は家族皆が同じ食器が使い、食べる楽しみを奪わないものにしたい。それは誰が使っても違和感がない“ユニバーサルデザイン”の食器。愛と思いやりから生まれたアイデア。



白い丸い器は重さがあって動き難く、淵に返しがあるから力のない片手でどの方向からでもスプーンですくい易い。黒っぽい器も、同じく重さと返しがあり、方向性があるので不自由な手でもすくい易い。スプーンを安定した形で置けるのも特長。口を持って行って飲むコップ。軽い力で傾きやすく、倒れ難い。飲み口は自然に口に沿う。それぞれの人のニーズ（障がい）や色や形の好み等に合わせ、痒い所に手が届く物創り。なるべく対面してお話を聞き、その人のイメージを絵にし、見て納得頂いてから創る。ひとつ 5000 円から（お話を聞く交通費別、要相談）。作る工程を伺ったらお値段は納得。だから今は大阪近辺の方の器しか作れない。こういう動きが全国に広まり、陶芸家の底上げになる事が希望との事。愛着があってずっと長く使える食器。焼き上がりに景色が見えるという登り窯で焼いた器は、高級な料亭の食器としても使えそう。



陶芸&造形作家 上村朋子さんの作品をご紹介します

幼い頃から料理作りが大好きで、職人の技に妙に惹かれ、大学では染織を専攻。後に陶芸・ガラス工芸を学び、『創る喜びと使う楽しみ』を日常の生活に取り入れ、日々を楽しんでいる上村さん。その作品をご紹介します。

アトリエ
ウラレ



▲ Angel in The Blue



▲ My Way



▲ DIVA



▲ 天海の花



▲ 月夜

アートな空間での創作と作陶展

アトリエは自然素材にこだわり、流木・陶・ガラス等を埋め込んだ白い壁のアートな内装と外装。イメージはアメリカニューメキシコ州サンタフェの土壁。

タイルや埋め込んだ陶は自分で焼き、木の壁は自分で塗った手作り感あふれる空間で、創作意欲も高まり、和気あいあいと創る喜びが味わえる教室になっている。

アトリエにお伺いした時はちょうど2年に1度の『生徒作陶展』の最中。もう第6回を数えるそう。

そのアトリエが、季節がら秋のイメージにレイアウトされた素敵な展示場に変容。

生徒さんの創りたい思いを形にするお手伝いをし、そのための技術を伝えるのが方針と言われる通りの、想い思いに創った器や花器、生活雑器など多数展示。全体にレベルが高い造形で、それぞれに自分が創った陶器を生活に取り入れ、楽しんでいる様子が伝わる温かみのある作陶展でした。



※ 誌面スペースの都合上、取材記事を一部省かせて頂いております。
全文はマッチングサイト<元気!こうせビジネスタウン>でご覧下さい。
URL:<http://www.genki-cosei-bz-town.jp/>

アトリエ ウラレ

陶芸、ガラス工芸講師・日本貴金属
粘土協会認定講師
(PMC 純銀粘土インストラクター)
陶芸&造形作家 上村 朋子

〒569-0056 高槻市城南町 1-19-11
Tel・Fax: 072-673-6346
E-mail: urale7@gmail.com
web サイト: <http://www.urale.net>



事業概要: 陶芸、ガラス&純銀粘土アート教室主宰・世界で一つだけ貴方とのコラボレーション。引き出物や店舗用の食器や花器、建築用インテリア素材等オリジナルで手作りにこだわりたい貴方のアイデアを形にします。